

県下全市区町村すべてを歩きましょう！ 5.11 平和のつどいの成功を
2008年原水爆禁止世界大会成功 米原子力空母配備を阻止しよう！

50周年神奈川県平和行進ニュース

発行 国民平和大行進神奈川県実行委員会 横浜市中区野毛町2-61 大沢ビル4A
TEL 045-281-6284 FAX 045-281-6577

2008年
5月11日
NO6

雨の中

基地前(相模原補給廠・キャンプ座間)で

基地の強化に抗議のシュプレヒコール

Aコース —— 相模原 200人、座間 150人

相模原 集会では被爆者の久保ヨシミさんが「くろこげのけだものなりと見えしもの人間なりし ミズヲ下サイ。くろこげのひともの言うを聞きてより おのが父とぞわかりたりけり」と被爆体験を話してくださいました。被爆者の会の元会長本田尚平さんを先頭に被爆者10人が参加。相模原市への要請では、「基地の返還」や「相模原補給廠への危険物の搬入禁止」など米軍や関に強く求めていただきたいと要請。相模原市からは市長のメッセージと募金、ペナントが送られ、本田尚平さんが代表して受け取りました。市長のメッセージには「核兵器の廃絶と平和を訴える平和行進は大変尊いと思います」と書かれていました。

ジェット機墜落事故の犠牲を語り継ぎ
Bコース(都筑区、青葉区、緑区)

午前140人、午後100人

江田駅近くの小黑公園で出発式。はじめに林和枝さん親子に挨拶。写真家の内藤嘉利さんが当時の話を。自衛隊機が無傷のパイロットを助け、事故の犠牲者を助けなかったこと。和枝さんの「子どもが殺されてかなしい」という3行の日記を紹介。参加者の中には「内藤さんの話を聞いて、あらためて事故の本質がわかった」という声も。青葉区役所では総務課長の井原さんが「僕はビキニの事故があった54年生まれです。広島の実験資料館にも行きました。最後までがんばってください」と挨拶。緑区役所では、総務課長の村田さんが「こういうことを世代をこえて伝えていくことが大切だと思います」と話されました。

3歳の子が抱っこもせがまず歩きました。将来の子ども達に平和を願わずにはいられません

座間

午後は雨がさらに強くなり、傘をさしての行進。オレンジのゼッケンをつけ、キャンプ座間の前では、「司令部くるな！」のシュプレヒコール。市役所でお茶の接待を受けて集会。市長のメッセージが読み上げられ「あの悲惨な体験を決して風化させることなく、私たち1人ひとりがあらためて平和の尊さを認識し、真の恒久平和を希求していかなければなりません」と。集会の最後に中澤日本共産党議員団長から座間市の市長を会長とする原水協の歴史や被爆者援護の活動が話されました。通し行進者の被爆者の塩瀬さんから体験が語られました。

子連れの方も多く、乳母車にビニールをかぶせて行進した若い人もいました。

5月12日の予定

Aコース 8.45 海老名市役所、9.15 出発 → 10.35 綾瀬市役所 10.55 出発 → 厚木基地正門
12.35 コープ → 柏ヶ谷店 13.25 出発 → 14.25 大和駅 14.45 出発 → 15.15 境橋
コープ瀬谷橋戸店 16.00 出発 → 17.00 米軍上瀬谷基地
Bコース 9.00 港北区役所 9.30 出発 → 11.30 コープ末吉店 13.00 出発 → 鶴見駅東口
→ 本町 → 入船公園 → 安善駅 → 15.00 米軍鶴見貯油基地